

山口県立下関西高等学校 定時制

いきいき定時 5月号

関一第下天

校長先生特別授業

毎年、4月の総合的な学習の時間に行われる校長先生による特別授業ですが、今年で最後となります。4年生3名は特別授業を受講できる最後の3名になるわけです。教員5名も出席し、初めてオーロラを見られたときのお話を興味深く聞かせていただきました。遡ることおよそ30年前、高校教員になって数年の頃、友人と一緒に厳冬のカナダにオーロラを見るために旅行されたそうです。気温マイナス45℃の世界ではフィルム(当時はフィルムカメラしか画像を撮る方法がなかった。)



がカメラを開けた瞬間に粉々になってしまったこと、移動の際、ガイドが来ず、しかも悪天候のため予定の飛行機が飛ばない状況で、列の前にいた人が別便のチケットを手配する英語をなんとなく聞き取り、「Same ticket, please」と言って何とか切り抜けたことなどを面白おかしく話される、その巧みな話術に受講者全員皆、吸い込まれるように聞き入っていました。山田校長先生曰く、「どうしようもなく困った状況におちいった時は、落ち着いて3回、深呼吸をし、過ぎた事を悔いるより、次に何をするかをひたすら考えれば何とか道は開ける。」そうです。貴重な体験談を聞かせていただきありがとうございました。

春の遠足

前日まで心配された天候も何とか持ち直し、当日は風は強いながらも、太陽の日差しを感じる絶好のピクニック日和となりました。今年、転勤してきた筆者は、雨男のレッテルを貼られず、一安心といったところです。最初の市立美術館は「マンガのルーツは日本画にあり」というやや強引な感じがするタイトルの美術館所蔵の作品展を楽しみました。長州藩印内で出生、幕末から明治期の画家、狩野芳崖の水墨画はとても趣があり、同じく下関で育った昭和の画家、椿義則の抽象的な画風は令和の今見ても、とても斬新で新しさを感じさせる印象的なものでした。次に訪れた市立歴史博物館も新しく立派な建物で、高杉晋作、久坂玄瑞、大村益次郎、坂本龍馬といった山口県を舞台に、近代日本の礎を築いた幕末の英雄達の遺品が多く展示されていました。その後、功山寺を散策、関見台公園で昼食を取り、解散となったわけですが、市外に住む筆者からすれば、情緒ある散策コースを巡り、下関の良さを改めて感じる事ができた、とてもいい一日になりました。コロナ禍の今、県外旅行なんてとてもという雰囲気ですが、今一度、我が郷土、下関の良さを再発見する期間にしてもいいかもしれませんね。



今年度赴任された豊先生が美味しい和菓子を差し入れに持って来てくださいました。近くにお住まいだそうです。ありがとうございました。もしかしたら豊先生こそが、強力な晴れ女でいらっしゃるのかもしれませんが(笑)。

6月の主な予定

5/31(月)~4(金) 3, 4限 部活動 5(土) 定通全国大会予選 バドミントン会場:

山口農業高校 卓球会場: 山口高校 7(月) 代休日 12(土) 全日制旭陵祭

15(月) 生活体験作文①(総合) 22(月) 生活体験作文②(総合) 28(月) 生活体験作文③校内選考(総合) 29(火) 期末考査時間割発表